11月19日に実施した市内一斉防災訓練。その振り返りとして、各小学校の取り組みの様子を紹介するとともに、各小学校区の自治会連合会長・区長・まちづくり協議会長のみなさんにコメントをいただきましたので、ご紹介します。

北小学校

長湫地区北部自治会連合会 細萱 健一（ほそがや けんいち） 会長

本年は、ここ数年を超える多くの方に参加いただきました。アレルギー等に対応した炊き出し訓練、高層マンションが停電したことを想定した訓練など、実戦に即した訓練を行いました。なお、市内のモデルとして、緊急時に支援が必要な方を対象に、一部地区で安否確認訓練を新たな方法で行いましたが、課題が複数ありましたので、今後この課題解消に向けた取り組みを行う必要を強く感じました。

自衛隊による搬送訓練

女性消防クラブによる初期消火訓練

南小学校

南小学校区自治会連合会 中村 利男（なかむら としお） 会長

南小学校区自治会連合会では実際に発災したことを想定した訓練を行いました。まず一時避難場所に全員集合し、黄色いタオルを使った安否確認を自治会員と民生委員で行い、自主防災倉庫内の資機材を確認し、参加人数の集計を行いました。その後南小学校で、愛知県立大学の「外国人にも理解できるやさしい日本語」を使ったゲーム、愛知医科大学の健康チェック訓練、自治会連合会の防災用品展示などを行い、充実した訓練となりました。

愛知県立大学による外国人向けの優しい日本語を使った地震の紹介

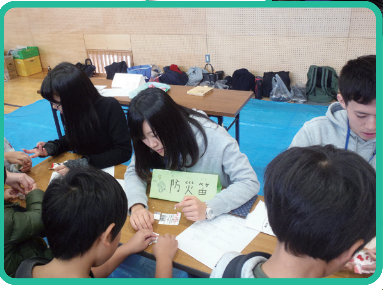
愛知医科大学による紙芝居

市が洞小学校

市が洞地区自治会連合会 新宅 巧（しんや たくみ） 会長

参加者が大幅に増えたのは、住民の防災意識の高まりと、学校防災の取り組み紹介による所が大きいです。地域の大学、団体は毎年趣向を凝らし、参加者が体験できる笛づくりなど、楽しみながら防災を学べる訓練でした。また炊き出し訓練では、食物アレルギーを持つ子どもでも食べることのできる豚汁が好評でした。来年は、中高校生が避難所運営にかかわることができるような訓練にしていきたいです。

ぷちヴェール長久手によるみんなが食べられる炊き出し



愛知淑徳大学による防災グッズ作り

■ 栄徳高等学校 小池 雄嗣（こいけ かつし） 教諭

本校生徒会として、初めて参加させていただきました。当日は生徒が調査・学習した知識を元に作成した「防災クイズ」による訓練を行い、多くの市民の方と交流することができました。「将来大地震が来た時に、この日の知識を活用してもらいたい」という生徒の感想も得られ、ぜひ来年以降も継続的に参加していきたいと思いました。「地域と防災」が生徒会の新たな活動テーマの1つとなりそうです。